

2019年12月期 決算説明資料

2020年2月 株式会社福田組

証券コード：1899

目次

1. 会社概要	P3
2. 2019年12月期決算概要	P7
3. 2020年12月期通期見通し	P14
4. 中長期経営計画の現状と今後	P19



株式会社 福田組



会社概要

会社概要：100年以上の歴史を持つ新潟県の建設会社



商号	株式会社福田組 (Fukuda Corporation)
事業	<ul style="list-style-type: none">・新潟県を地盤として全国展開する総合建設（土木・建築）会社・当社の企業集団は、当社、子会社27社、関連会社6社で構成・優良工事表彰・優良建設技術者表彰を数多く受賞 <p>*平成26年度以降、国土交通省「工事成績優秀企業」認定を継続</p>
創業	1902年（明治35年）1月（創業118年）
設立	1927年（昭和2年）12月（設立92年）
業績	売上高1,820億円、営業利益80億円（2019年12月期）
資本金	51億円（2019年12月末現在）
本社所在地	新潟県新潟市中央区一番堀通町3-10
東京本社	東京都千代田区九段北3-2-4
支店・営業所	新潟県以外に北海道、東北、名古屋、大阪、九州など、全国
従業員数	2,094名（連結：2019年12月末日現在）

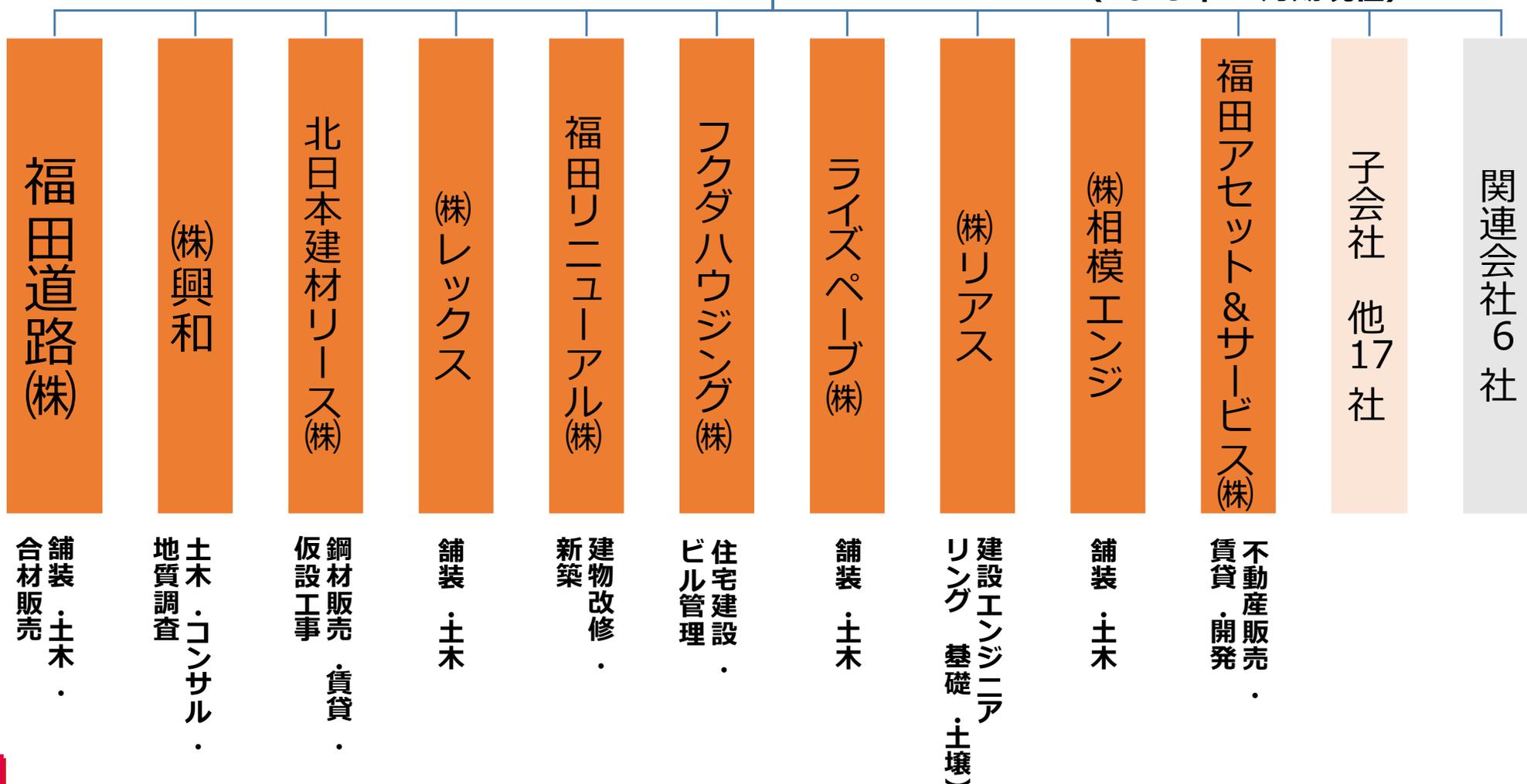
福田組グループ概要



子会社27社、関連会社6社で構成。(連結対象子会社17社、持分法適用関連会社1社)
建設、不動産を主な事業とし、その他として建設関連以外のサービスも展開

福田組

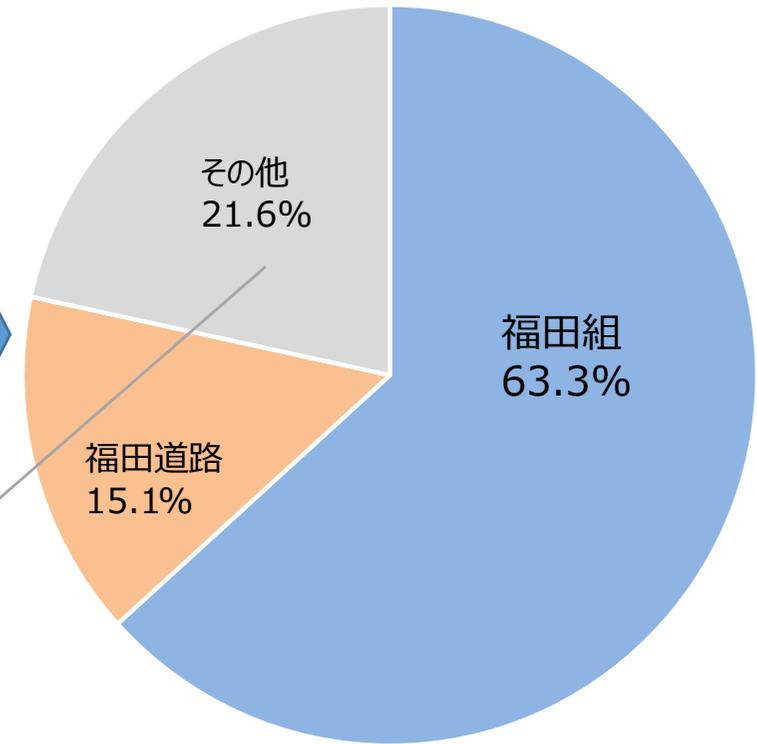
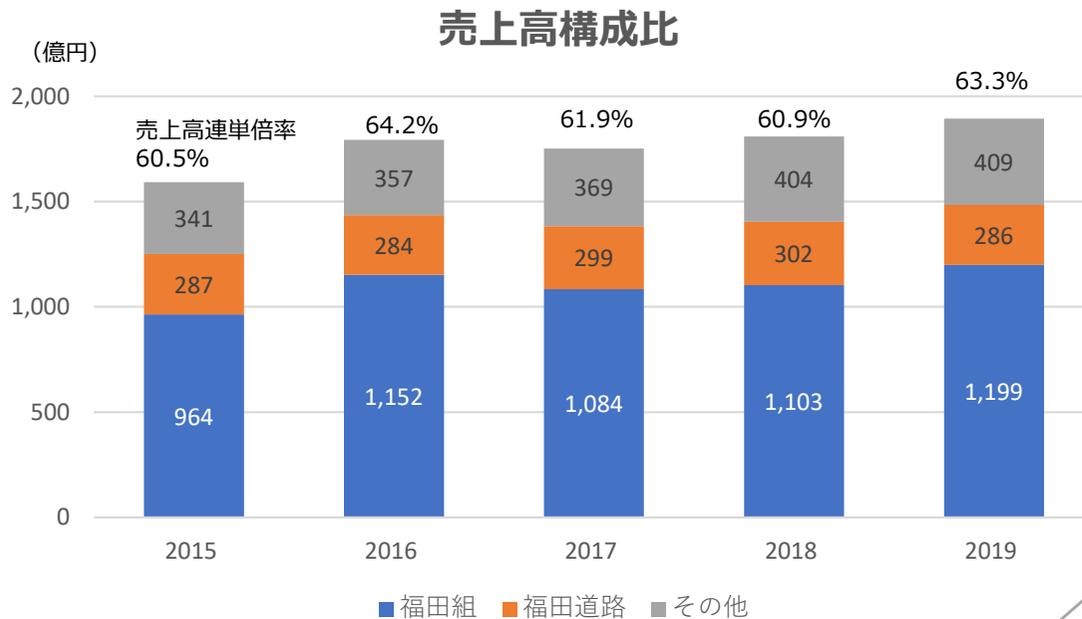
※子会社：売上上位10社記載
(2019年12月期現在)



売上高構成比

福田組単体の売上高連単倍率は60%台で推移
福田道路、その他の業績は安定的に推移

売上高構成比
(2019年12月期)



<その他上位5社>

(株)興和	売上高構成	4.9%
北日本建材リース(株)	"	4.7%
(株)レックス	"	3.6%
福田リニューアル(株)	"	3.4%
フクダハウジング(株)	"	1.2%
その他		3.8%

※各構成比にあたっては、連結調整前の個別数値を使用しています。



2019年12月期決算概要

期初予想を上回る業績を達成：増収、営業利益前期並み

売上高 1,820億円（前期比+4.7%）
営業利益 80.55億円（前期80.55億円）

- 売上高増加：** 福田組単体の建設事業（土木・建築）が堅調。前期受注の繰越工事量が、土木・建築共に増加。
- 売上総利益率低下だが：** 福田組単体の建設事業で競争環境が激化、一部大型工事の低採算案件が影響。子会社堅調により、売上総利益は増益確保。
- 営業利益前期並み：** 販管費は人件費等で増加するも営業利益は前期並みを確保。

2019年12月期決算：期初予想を上回る業績



売上高・営業利益・経常利益・当期純利益すべて予想比増

単位：百万円

	2018/12 ①	2019/12 ②	増減 ②-①	増減率	2019/12 期初予想
売上高	173,928	182,088	+8,159	+4.7%	179,000
売上総利益	17,762 (10.2%)	18,069 (9.9%)	+306	+1.7%	-
販管費及び 一般管理費	9,707 (5.6%)	10,014 (5.5%)	+307	+3.2%	-
営業利益	8,055 (4.6%)	8,055 (4.4%)	-	-	7,400
経常利益	8,410	8,350	△59	△0.7%	7,600
親会社株主帰属 当期純利益	5,643	5,475	△167	△3.0%	5,000

* カッコ内は対売上高比率

2019年12月期決算概要：セグメント別売上



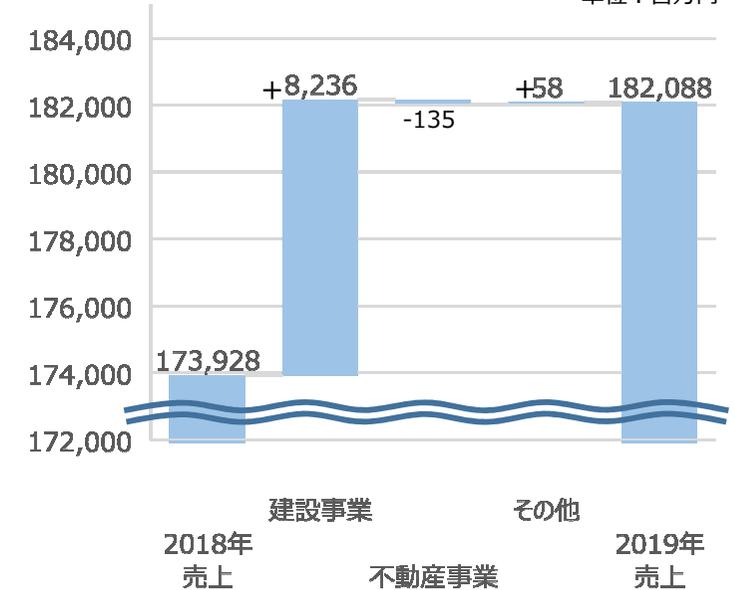
建設（土木・建築）事業が、売上高増加を牽引

単位：百万円

売上高	2018/12 ①	2019/12 ②	増減 ②-①	増減率
建設	170,689	178,925	+8,236	+4.9%
不動産	2,646	2,511	△135	△5.1%
その他	592	651	+58	+9.9%
合計	173,928	182,088	+8,159	+4.7%

セグメント別売上

単位：百万円



<建設>

- ・当期受注高は前年度を下回ったものの、前期繰越高増加が奏功して増収。

<不動産>

- ・賃貸売上高は増加したものの、不動産販売物件数が減り、売上高は減少。

<その他>

- ・福祉施設子会社の売上高は増加。

2019年12月期決算概要：セグメント別営業利益



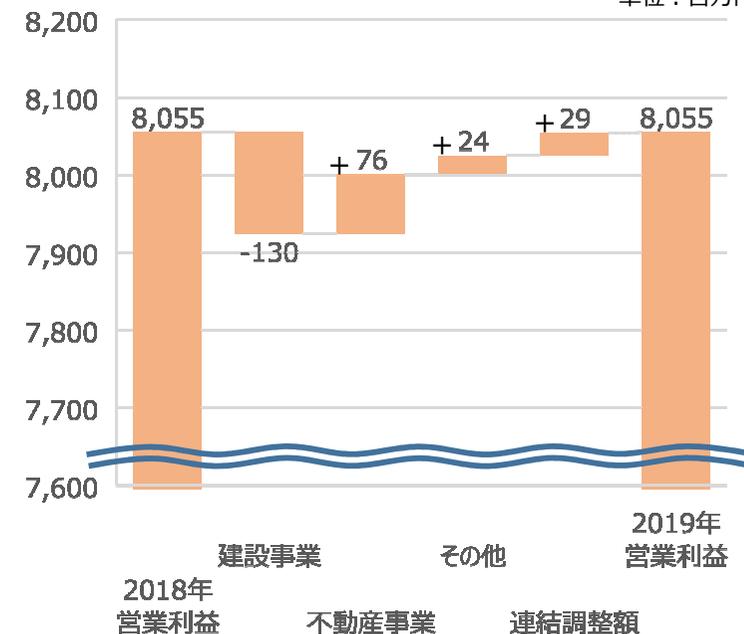
建設事業の減益を不動産事業、その他事業等でカバー

単位：百万円

営業利益	2018/12 ①	2019/12 ②	増減 ②-①	増減率
建設	8,016	7,886	△130	△1.6%
不動産	235	312	+76	+32.5%
その他	19	43	+24	+126.3%
連結調整額	△215	△ 186	+29	△13.5%
合計	8,055	8,055	△0	△0.0%

セグメント別営業利益

単位：百万円



<建設>

- ・ 福田組単体の建設（土木・建築）事業の低採算案件の影響を受けるが、子会社の貢献もあり、前年比微減に留まる。

<不動産>

- ・ 賃貸物件数の増加で増益。

<その他>

- ・ 福祉施設子会社の売上高増加に伴い増益。

2019年12月期決算概要：貸借対照表



期末完成工事量増加で債権債務が増加し、流動資産・負債が増加

単位：百万円

	2018/12末 ①	2019/12末 ②	増減 ②-①	備考
流動資産	90,675	104,203	+ 13,528	売上債権 + 9,824 販売用不動産 + 1,668
固定資産	35,157	35,343	+ 186	
資産合計	125,832	139,546	+ 13,714	
流動負債	54,064	62,880	+ 8,816	短期借入金 + 4,504 未成工事受入金 + 3,131
固定負債	8,501	8,531	+ 30	
負債合計	62,565	71,412	+ 8,846	
純資産	63,266	68,134	+ 4,868	利益剰余金 + 4,521
自己資本比率	49.8	48.4	△1.4	
負債純資産合計	125,832	139,546	+ 13,714	

<流動資産>

・建設事業で大型含む期末完成工事量の増加により売上債権増加。不動産事業で販売用不動産取得により増加。

<流動負債>

・手持工事量増加に伴う運転資金需要により短期借入等増加。大型仕掛工事物件の前受金が増加。

2019年12月期決算概要：キャッシュ・フロー



期末工事資金を短期借入金で対応

単位：百万円

	2018/12 ①	2019/12 ②	増減 ②-①	備考
現金同等物 期初残高	30,301	22,858	△7,443	
営業活動C F	△3,300	△ 1,151	+2,148	売上債権△3,330 棚卸資産△1,587 未成工事受入金+5,303
投資活動C F	△3,119	△ 1,849	+1,269	有形固定資産+755 長期貸付金+461
フリーC F	△6,419	△ 3,001	+3,418	
財務活動C F	△1,023	3,314	+4,338	長短借入金+4,450
現金同等物 期末残高	22,858	23,171	+313	

<営業活動CF>

- ・大型含む期末完成工事量の増加で売上債権や棚卸債権が増加するも、繰越工事量の増加で未成工事受入金が大幅に増加、営業CFは改善。

<投資活動CF>

- ・有形固定資産の取得および長期貸付金の実行が減少。

<フリーCF>

- ・マイナス幅が縮小。

<財務活動CF>

- ・期末工事資金手当てによる短期借入金増で増加。



2020年12月期通期見通し

2020年12月期業績見通し



売上高は前期並みを確保も、利益はやや減益を予想

単位：百万円

	2019/12① (実績)	2020/12② (計画)	増減 ②－①	増減率
売上高	182,088	182,000	△88	—
営業利益	8,055	7,500	△555	△6.9%
経常利益	8,350	7,600	△750	△9.0%
親会社株主帰属 当期純利益	5,475	5,000	△475	△8.7%

<売上高>

- ・高水準の繰越工事量と期中の早期受注獲得取り組みで、一定量の工事量を確保。人手不足はあるものの、前期並みを想定。

<営業利益>

- ・販管費は、働き方改革本格化や人財育成強化による投資（人件費など）で増加予定、やや減益を見込む。

(個別) 受注高 見通し

前期比1.8%増加、回復を見込む

単位：百万円

	2019/12① (実績)	2020/12② (計画)	増減 ②-①	増減率
受注高	120,847	123,000	+ 2,153	+ 1.8%

<土木>

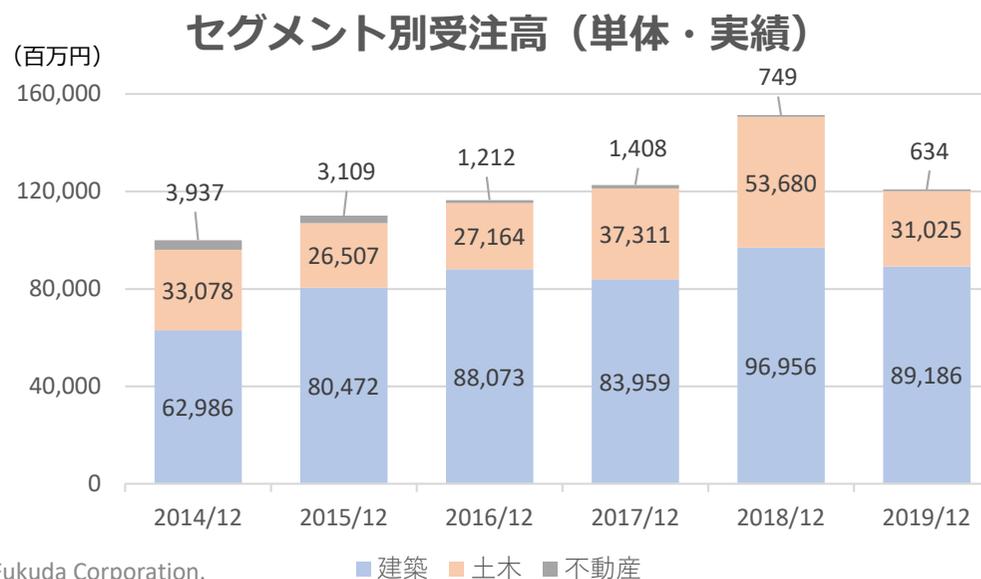
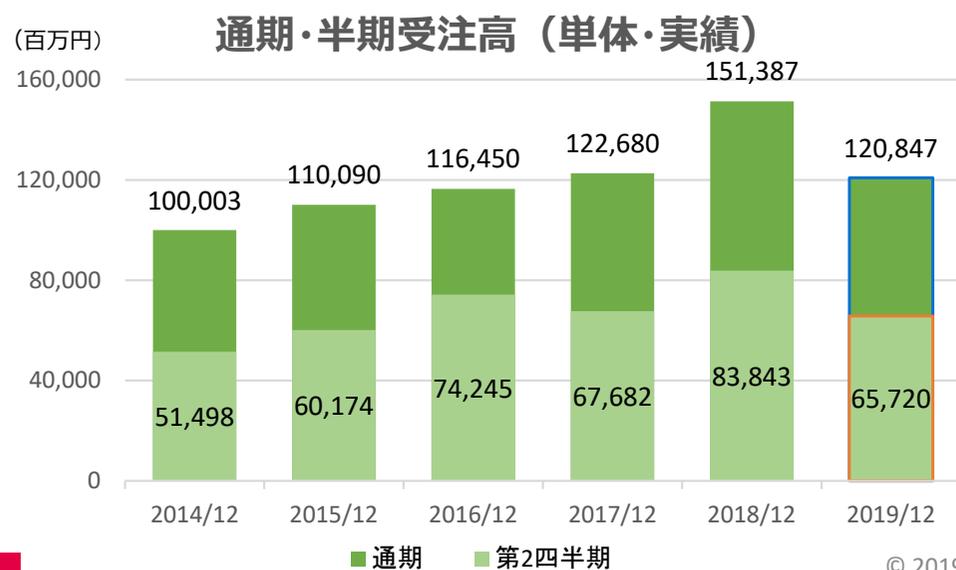
・地元の新潟、民間インフラ拡大の東京、西日本エリアで営業強化し、前期並みを見込む。

<建築>

・安定市場の東京での早期受注とリニューアル事業の営業強化等で、前期並みを見込む。

<不動産事業>

・販売物件の受注増を目指す。



(個別) 土木・建築の繰越工事高



受注高は減少するも、繰越工事高は高水準で推移 (+0.6%)

単位：百万円

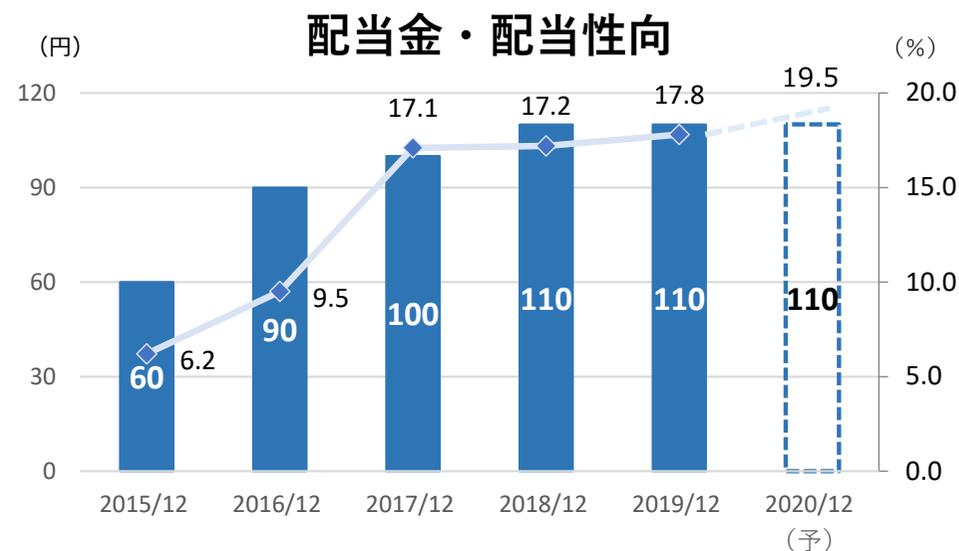
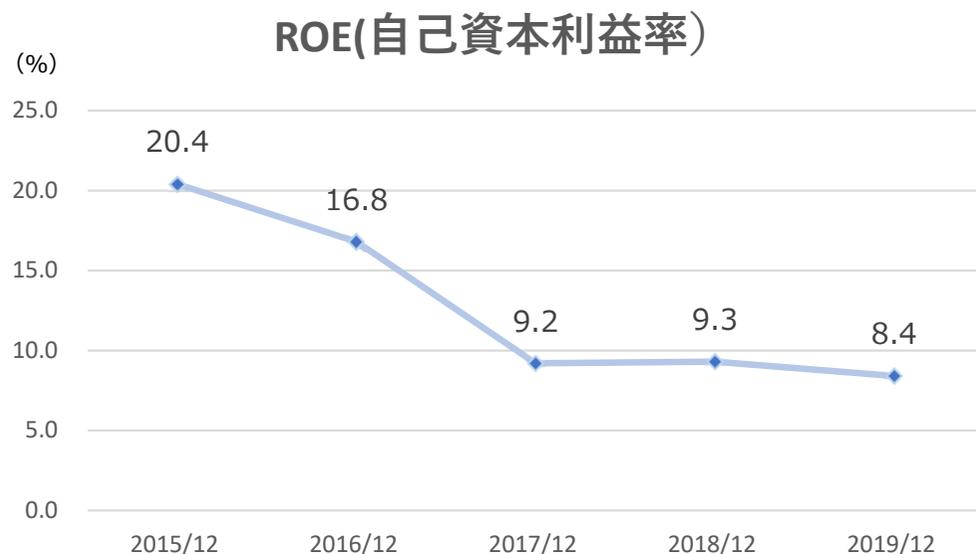
	2017/12	2018/12 ①	2019/12 ②	増減 ②-①	増減率
受注高*	121,271	150,637	120,212	△30,425	△20.1%
(土木)	(37,311)	(53,680)	(31,025)	(△22,655)	△42.2%
(建築)	(83,959)	(96,956)	(89,186)	(△7,770)	△8.0%
繰越工事高*	102,643	143,674	144,558	884	0.6%
(土木)	(33,771)	(60,884)	(62,791)	(1,907)	3.1%
(建築)	(68,872)	(82,790)	(81,766)	(△1,024)	△1.2%

*不動産開発の受注は、除く。

株主還元：内部留保の充実を図りながら安定的な還元

2019年12月期（予定）：110円

2020年12月期（予想）：110円





中長期経営計画の現状と今後

長期ビジョン2025 ～10年後のあるべき姿～

100年の歴史の伝承と次の100年に向けた挑戦 (2016年2月発表)

あるべき姿

- ・ 強いグループ経営で地方ゼネコンの枠を超えた全国展開
- ・ 品質と安全で顧客満足の創造
- ・ 高い技術力・高い提案力ある企業集団
- ・ 優秀な人材の確保と活躍できる環境の整備
- ・ 全てのステークホルダーとWIN-WINの関係を構築

収益性目標

ROE8.0%程度

株主還元

純資産配当率2.0%
又は配当性向20%



マルチ・ステークホルダーの満足度ナンバーワン企業へ

～「持続的成長企業」となるために～
環境や社会へ企業としての責任を果たし、
ステークホルダーから最高の評価を得て、
進化し続ける企業へ

中期経営計画2021の位置づけ

◆社会情勢

2020.2

- ・アベノミクス
- ・少子高齢化の進展
- ・再生可能エネルギー
- ・防災・減災ニーズ

- ・消費税増税
- ・労働人口の減少
- ・IT技術導入の加速
- ・働き方改革

- ・高齢化・人口減少による国内市場の縮小
- ・AI技術の浸透
- ・社会ニーズの多様化
- ・環境問題

◆建設業界の見通し

2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

安定的な需要

競争激化・受注減少・人手不足

公共工事の発注形態の変化

社会インフラ・マンション等の老朽化への対応・環境問題

◆当社の目指すべき姿

前中計2018 phase1

現中計2021 phase2

継続的成長の実現

- ・業績回復
- ・受注取り込み
- ・財務基盤の安定化

- ・事業のポートフォリオ変革
- ・新たな収益基盤
- ・人材の確保・多様化

- ・強い連結経営で地方ゼネコンの枠を超えた全国展開
- ・高い技術力・高い提案力のある企業集団
- ・全てのステークホルダーとWIN-WINの関係

長期ビジョン2025 次の100年へ「伝承と進化」

中期経営計画2021：持続的成長を軌道に



(2019年2月発表)

業績目標

項目	2019/12 実績	2021/12 目標
売上高	1,820億円	1,890億円
福田組単体	1,199億円	1,235億円
(建築・土木)	(1,193億円)	(1,200億円)
(開発事業)	(6億円)	(35億円)
グループ会社	621億円	655億円
営業利益 (営業利益率)	81億円 (4.4%)	79億円 (4.2%)
福田組単体	55億円	58億円
(建築・土木)	(92億円)	(95億円)
(開発事業)	(3億円)	(8億円)
販管費	(△40億円)	(△45億円)
グループ会社	25億円	21億円

経営数値目標

項目	2019/12 実績	2021/12 目標
有利子負債残高	80億円	20億円
自己資本比率	48.4%	50.0%
ROE	8.4%	8.0%
純資産配当率	1.5%	1.6%
配当性向	17.8%	20.0%

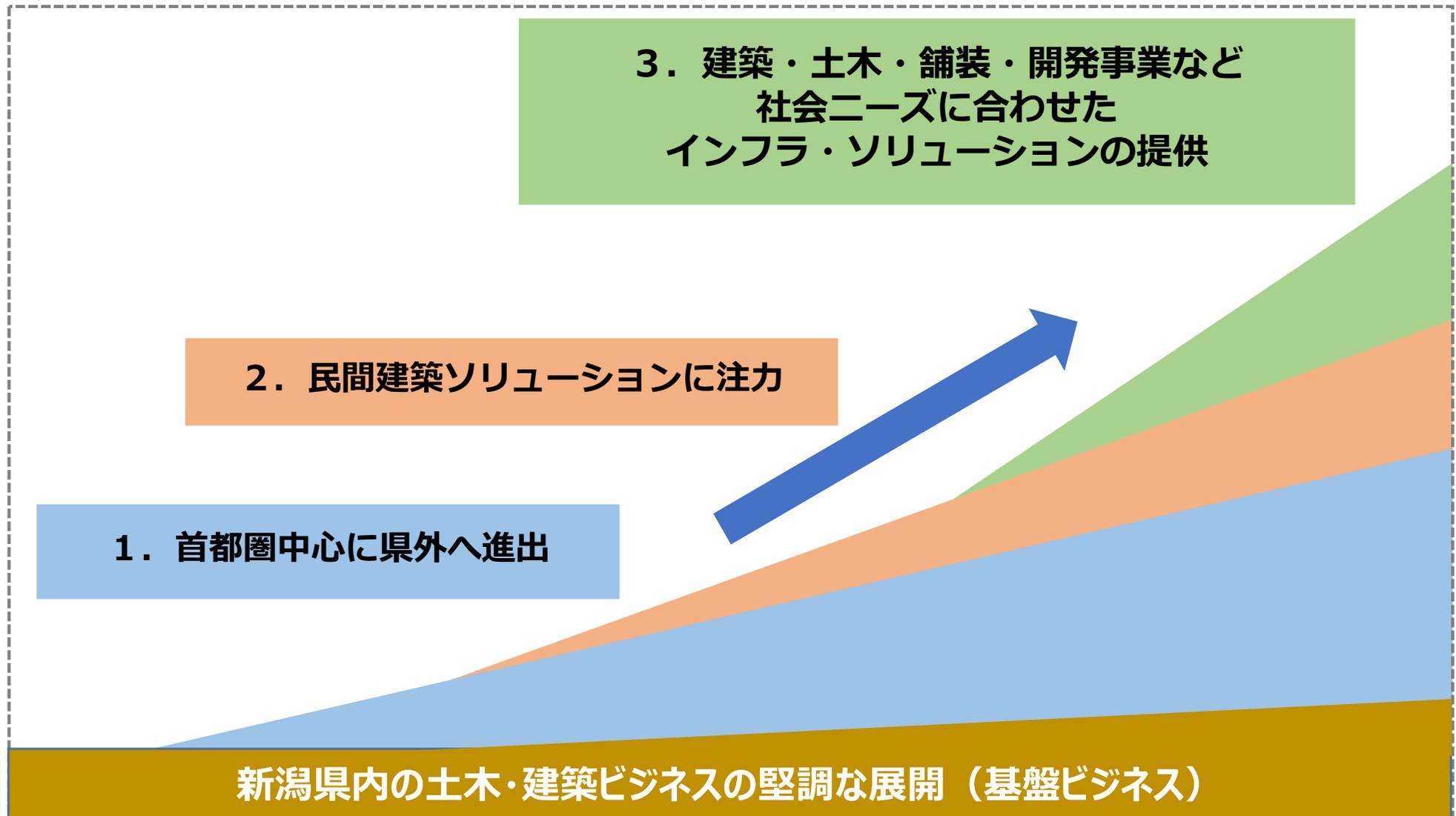
◆ 業績目標：営業利益4%以上

働き方改革、慢性的な人材不足の解消
を行いながら、持続的安定成長

◆ 経営数値目標：

経営基盤を維持しながら、
安定・継続的な株主還元を実施

成長の実現・収益の創出



(ご参考) 主要業績指標の推移



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、
本資料の発表日、現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、
実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がございますことをご了承ください。

100年先も誠実



株式会社福田組 証券コード：1899

2019年12月期決算説明資料

2020年2月

連絡先：経営企画部 経営管理室 TEL 025-266-9199（大代表）